

第3回 名鉄知多武豊駅西グランドデザイン策定委員会 議事録

日 時：令和4年5月12日（木） 10：00～12：00

場 所：武豊町役場 第2・3・4会議室

出席者：千頭 聡委員（日本福祉大学教授）、加藤武志委員（中京大学講師）、
奥村崇岐（代理：中嶋久）（名古屋鉄道㈱駅運営部長）、久保 隆委員（地元代表長尾部長）、
山下紘史（公募）、長谷川雄紀委員（公募）、村田千代委員（公募）、花田鮎美委員（公募）
木村昌博（代理：朝田堅次）（愛知県都市計画課長）、
小柳和人（知多建設事務所企画調査監）、小坂勘太郎（知多中部広域事務組合武豊支署長）
南木宏和（独立行政法人都市再生機構中部支社都市再生業務部まちづくり支援室室長）

【議事録】

報告（1） まちづくりのアイデアについて

（2） 駅西グランドデザインの計画冊子（案）について

- ・対象区域における課題について
- ・第4章 将来像とまちづくりの目標及び戦略について
- ・第5章 取組方針について

委 員：資料3のP58で示している対象範囲について、この範囲に設定した理由を教えてください。都市計画マスタープランでは知多武豊駅周辺を都市拠点として位置づけていると思うが、この都市拠点の範囲を広げた新しい拠点を考えているのか、都市拠点はそのまま公共交流拠点と連携して賑わいをつくっていくのか、観点をわかりやすくまとめていただきたい。

事 務 局：対象範囲については、都市計画マスタープランに位置づけられている都市拠点と公共交流拠点の2つの拠点を含めて設定している。最終的には対象範囲全体の構築となるため、それぞれの機能が相互作用するように進めていきたい。

会 長：資料3のP56に3つの目標がそれぞれ「～まち」と表現されているが、総合計画では武豊町全体の将来像として同様の表現を使っている。町全体を指すのか、名鉄知多武豊駅西を指すのか、「まち」の使い方を整理すると良い。

（3） 庁舎整備計画検討業務の報告について

委 員：デザイン性のある庁舎ができると良い。

会 長：一般的には、庁舎に対して行政職員が仕事をする場所というイメージが大変強い。本来シティホールは住民が集う場所であり、その一部に行政職員が仕事をする場所がある。新しい庁舎を検討する際に、その考えを入れると良いと思う。

委 員：資料4のP1、「立地環境の充実」に「自家用車での庁舎へのアクセス性を確保することが必要」とあるが、今の社会、自家用車の保有については変化があると思う。自家用車を持っていない人のアクセスも確保できるようにご配慮いただきたい。

議事（1） 対象区域の将来像について（ワークショップ）

副 会 長：冊子の P55 ページに将来像があるが、駅西地区の将来像をどのように表現したらよいか、スマイルゲートタウン武豊についてアイデアを出していただきたいと思う。

テーブルごとの2人一組になってアイデアを出していただき、そのアイデアを全体で共有する。

武豊町について詳しい方や仕事として関わりを持っている方もいるため、武豊町についての知識に差はあると思う。特に仕事でかかわりを持っていらっしゃる方は、武豊町外の状況もご存じのため、その観点で見たときに駅西地区がどのような町になれば良いか考えていただきたい。

まずはご自身で本日までの議論を踏まえ、駅西の将来像について考えていただきたい。その後、テーブルごとで話し合いまとめたアイデアを、お手元のA3用紙に「わたしたちが考えた駅西地区の将来像」として書いていただき、グループごとに紹介していただきたい。

1. 自分で考える
2. 二人で相談し、二人で案を考える
3. みんなで共有する

という流れで進める。

アイデア1（山下委員・久保委員）：『ステップアップタウン武豊』

- ・常滑市には空港、半田市は都会、南知多町には海があるが、武豊町には何もないという意見がある。何もないという表現はネガティブだが、伸び代があると捉え、一歩ずつ前進をしていくという意味でステップアップタウンとした。
- ・自分はもうすぐ高齢者になる。武豊中央公園に機能を集積するとのことだが、この先、武豊中央公園付近の坂道が辛くなると思う。EV等、楽に行ける方法を考えたまちづくりをして欲しいと思う。

ステップアップ
タウン武豊



アイデア2 (村田委員・花田委員)：『育む』『スマイル駅』『豊か』『循環』

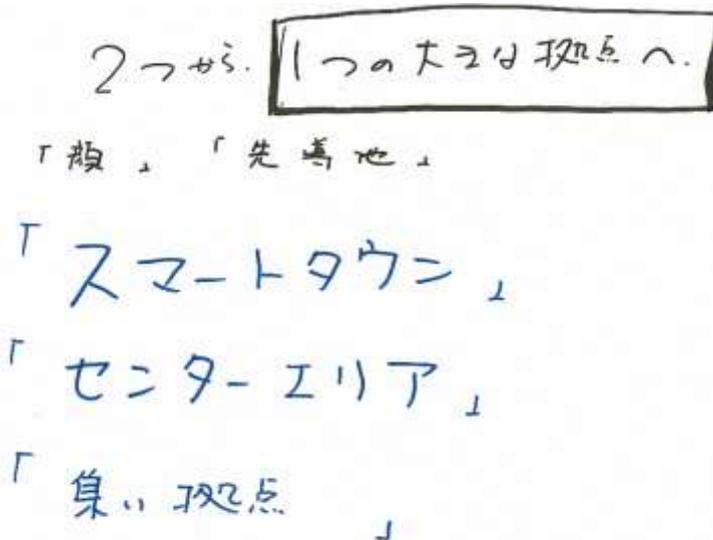
・武豊町にはJRと名鉄があり、JRの終点があるということが特徴的だと考え、鉄道が好きな方も多いため鉄道を推してこの図をつくった。「育む」を動力として心や多様性、マイノリティなどのキーワードを駅と見立て、最終的には武豊スマイルという駅にたどり着くと良いと思う。良いものが循環していくという意味も込めて、武豊の「豊」という文字が意味する「豊かさ」も育まれていくと良いと思う。



アイデア3 (木村委員・小柳委員)

：『スマートタウン』『センターエリア』『集い拠点』『顔』『先導地』

・現在2つの拠点を位置づけているということだが、最終的には1つの大きな拠点としてまとめる方が、構造的にも良いのではないかと思う。この1つの大きな拠点を考えたときに、「スマートタウン」、「センターエリア」、「集い拠点」など、対象区域は重要な区域であるという思想をしっかりと表現してもらえると良いと思う。



アイデア4 (南木委員・奥村委員):『交流』

- ・対象区域を抽出してランドデザインを考えると、役場や鉄道駅が2つあるなど区域の特性を考えると、様々な人々が集うのではないかと考えた。来訪者と住民の隣同士での会合や、買い物など、人々が滞留するような議論も必要なのではないかと思った。駅の近くに一定の空間が出来上がることを考えると、このキーワードに意味があるのではないかと思う。

交流

歩行者、住民、会合、お店、寄附
跡地の利用の視点



アイデア5 (小坂委員・長谷川委員):『武豊(たけとよ)NEcST(ネクスト)エリア』

- ・NEcSTがそれぞれのキーワードの頭文字となっている。Nは new/next で先進性、Eは ecofriendly で、環境・省エネ、cは communication/comfort で人の交流・快適な住環境、Sは smart/sustainable で知の集積・未来に続くにぎわい、Tは terminal で交通利便性・集積地を表す。タウンの中のエリアであり、NEcSTの大文字を読むとNESTで鳥の巣を表し、ここで育ち巣立っていった人たちがまた戻ってくるようなまちであってほしいという意味を込めた。サブタイトルで「～ゆめがあふれるみんなのリビング～」とし、リビングのようにみんながリラックスできる空間を提供することとあわせ、武豊町はゆめがあふれるまちであるため、このように表現した。

武豊(たけとよ)

NEST: 巣

NEcST

エリア

- ・N: new/next 先進性
- ・E: ecofriendly 環境・省エネ
- ・c: communication/comfort 人の交流・快適な住環境
- ・S: smart/sustainable 知の集積・未来に続くにぎわい
- ・T: terminal 交通利便性・集積地

～ゆめがあふれるみんなのリビング～



- 副 会 長：皆さんの着眼点が面白いと思った。それぞれのキーワードを頭文字でうまく表現されていると、キーワードにつながる要素も整理されてわかりやすい。サブタイトルがあると、子どもでもわかると思う。みなさんのアイデアをうまくまとめられると良い。
- 会 長：スタートは理想や固定された何かという訳でもなく、エリアやまち自身が発展していく。住民や来訪者などがまちのダイナミズムを支え、より良くなっていくという話を皆さんの言葉で語って頂いたと思う。良くなっていく移り変わりを皆さんで積極的に楽しむというイメージを出していただいたと思う。
- 委 員：ネーミングで横文字になる事が多いが、力のある武豊の「豊」という漢字を敢えて残すと良いと思う。
- 事 務 局：ご意見として何っておく。

以上